



認定No.	第7号
件名	屋代城址5号土塁(やしろうじょうしごごうどるい)
認定年月日	平成28年11月16日
所在地	龍ヶ崎市城ノ内5-3 龍ヶ崎市立城ノ内中学校
所有者等	龍ヶ崎市
解説	<p>15～16世紀に信濃出身の豪族・屋代氏の一族が構えた城郭の一部であり、「土塁」とは、外敵から城を防御するために造られた土の城壁(土手)の一種である。</p> <p>屋代城址は市内でも屈指の大規模遺跡であったが、ニュータウン開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査終了後、その大部分が消滅してしまった。</p> <p>しかし、この5号土塁は、城が存在していた当時の状態を非常によく留めていたため、茨城県や市の協議により破壊せず、城ノ内中学校の敷地内に保存したという経緯がある。</p> <p>※学校敷地内にあるため、通常は一般公開しておりません。</p>
	 <p>▲城ノ内中学校の校舎脇にある土塁</p>
	 <p>▲南北に50メートルほどの長さがある(城ノ内中の上空より)</p>